

自動車整備科、一級自動車工学科、自動車整備・ボディリペア科、自動車整備・カスタマイズ科、国際自動車整備科					2024年度	授業計画	
時 期	1年C巡	単 元	実 習	教科名	ブレーキ1		
科 目	自動車整備作業	教科書等 持参品	三級シャシ		発行日	2024年2月3日	
総時限	33時限（52時間）				教科担当	教科担当	
1. 実務経験のある教員による授業科目 該当 非該当							
自動車整備士として、シャシ系統全般の整備の実務経験がある教員によりシャシの分解・組立・点検等について指導する。							
2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）							
<div>・ブレーキ装置の構造と作動の理解</div> <div>・ブレーキ装置の整備作業習熟</div> <div>※ブレーキ装置とは、マスタ・シリンダ、ホイール・シリンダ、キャリパ、配管、Pバルブ、ブレーキ本体とブレーキ・フルードである。</div>							
3. 授業の到達目標（この授業を学ぶことで学生は何を理解し何ができるようになるのか）							
<div>・整備士に求められる資質（整理・整頓・清掃）の必要性の理解と修得</div> <div>・安全を守る品質の徹底（自動車を使うすべての人への信頼）</div> <div>・ブレーキ装置における整備作業の理解と修得</div> <div>1. ディスク・ブレーキの整備作業を前提とした分解組立</div> <div>2. ドラム・ブレーキの整備作業を前提とした分解組立</div> <div>3. ブレーキ・フルードの交換実施と、作業内容の理解</div> <div>4. ブレーキ装置の構造理解</div> <div>ドラム・ブレーキ4種 ディスク・キャリパ2種 ブレーキ操作機構 マスタ・シリンダ ホイル・シリンダ Pバルブ 配管</div>							
4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）							
実技試験筆記試験（70点）、レポート（15点）及びブルーブック（15点）計100点で評価 ※但し、各実技試験で10点以上獲得しないと、評価合格点以上獲得していても、不合格とする。 一級自動車工学科 上記評価にて70点以上で合格とする 自動車整備科 上記評価にて60点以上で合格とする 自動車整備・ボディリペア科 上記評価にて60点以上で合格とする 自動車整備カスタマイズ科 上記評価にて60点以上で合格する 国際自動車整備科 上記評価にて60点以上で合格する							
5. 準備学習							
三級自動車シャシの教科書を事前に読み予習を行う。							

2024年度 授業計画

■：対面授業

自動車整備科、一級自動車工学科、自動車整備・ボディリペア科、自動車整備・カスタマイズ科、国際自動車整備科					2024年度	授業計画	
時 期	1年C巡	単元	実習	教科名	ブレーキ1		
7. 安全（KYのため必ず授業内で説明）							
番号	作業名	遵守事項		災害事例	チェック		
1	鋼材の切断 切削 研磨作業 鉄板を取り扱う作業	手袋の着用 ドリル、グラインダの作業は除く		切り傷等			
2	エアチャック取り付け	エアチャックを取り付け、取り外しは エアホースをしっかり持つ。		学校ではないが卒業生がエアホースが目にあた り失明			
3	塗装作業 有機溶剤取り扱い	耐溶剤手袋を着用しスプレーガンなどの清掃を 行う 防毒マスクの着用 塗料が体（衣服）に付着したら着替える。 塗料が付着すると火の粉だけでも引火する。 ※直ちに着替える		手が荒れるなど、ひどい場合は炎症を起す 気分が悪くなる 大火傷による入院6ヶ月			
4	防塵マスクの着用	防塵マスクの着用		すぐにはならないが蓄積するので 、塵肺などの原因になる			
5	卓上ボール盤 ベンチグラインダ作業	保護めがね着用 手袋はつけない 手袋は、巻き込まれる恐れがあるため ベンチグラインダでは、砥石の側面を使わない					
8. 授業レイアウト（写真の貼り付けも可）							
実習場				座学教室			